

MT - 2000

メモリ機能付きVideo Controller

取扱説明書

作成 2007年1月

武蔵株式会社

目次

| | |
|------------------------|----|
| 1. 概要..... | 2 |
| 2. 特徴..... | 2 |
| 3. 各部の名称と働き..... | 3 |
| 3-1 前面パネルの説明..... | 3 |
| 3-2 後面パネルの説明..... | 5 |
| 4. 機能と操作方法..... | 6 |
| 4-1 調整..... | 6 |
| 4-2 調整値の保存..... | 6 |
| 4-3 調整値の呼び出し..... | 6 |
| 4-4 アドレス毎のメモリの初期化..... | 7 |
| 4-5 メニューの操作方法..... | 7 |
| 4-6 メニュー一覧..... | 8 |
| 4-7 機器設定上の注意事項..... | 11 |
| 5. 仕様..... | 12 |
| 5-1 MT-2000..... | 12 |
| 5-2 MT-20A50V..... | 12 |
| 5-3 MT-20A25V..... | 12 |
| 5-4 MT-20S422..... | 12 |
| 6. ピンアサイン..... | 13 |
| 6-1 MT-20A50V..... | 13 |
| 6-2 MT-20A25V..... | 13 |
| 6-3 MT-20S422..... | 13 |
| 6-4 メンテナンス用コネクタ..... | 13 |
| 7. ケーブル..... | 14 |
| 7-1 SAC-5/10..... | 14 |
| 7-2 MAC-5/10..... | 14 |
| 7-3 SDC09-5/10..... | 14 |
| 7-4 SDC15-5/10..... | 15 |
| 7-5 SDC15-JJ..... | 15 |
| 8. 外観図..... | 16 |

1. 概要

MT-2000 はVTRに内蔵されているTBC(タイムベースコレクタ)やビデオプロセッサのビデオゲイン、クロマゲイン、ヒュー、セットアップ、Hフェーズ、SC フェーズ等の出力ビデオ信号の調整をリモートコントロールする装置です。本機1台で、最大4台の VTR(TBC)を切り替えてリモートコントロールすることが可能です。また、メモリ機能により調整値を保存し、再現することが可能です。

2. 特徴

4台のVTR(TBC)をリモートコントロール可能

本機1台で、4台までの VTR をリモートコントロールすることが可能です。

各種VTRに対応

各種インターフェース・ボードの選択により異なるタイプのVTRを混在させて使用することが可能です。

各種インターフェース・ボード

インターフェース・ボードとして、下記3タイプの選択が可能です。

- ① MT-20S422(シリアル通信制御インターフェース)
- ② MT-20A50V(5V系アナログ電圧制御インターフェース)
- ③ MT-20A25V(2.5V系アナログ電圧制御インターフェース)

調整値の保存と呼び出し

全調整項目の調整値を1組として、1台のVTRにつき100組までの調整値を内蔵メモリに保存する事が可能です。保存した値を呼び出し、調整値の再現が可能です。

ユニティ(中央)値の設定

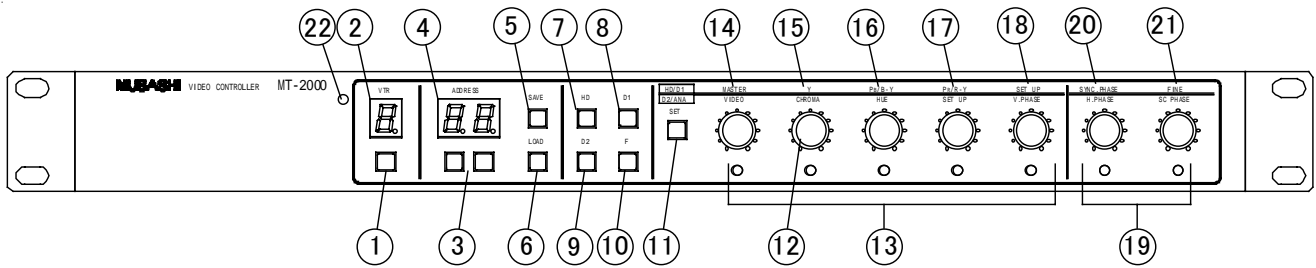
調整つまみを押す事により、調整項目毎にワンタッチでユニティ値に設定する事が可能です。

省スペース

EIA 規格1U で、最大4台の VTR をリモートコントロールする事が可能です。

3. 各部の名称と働き

3-1 前面パネルの説明

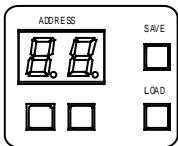


①VTR選択ボタン

本機に接続した1～4のVTRのうち、調整するVTRの選択を行います。ボタンを押す度にVTRインジケータの表示が変わります。(複数台のVTRを同時に選択/調整することはできません。)

②VTRインジケータ

現在調整可能なVTRを表示します。この1～4の数字は、後面パネルのVTR(PORT)1～4のコネクターに対応しています。



③メモリアドレス選択ボタン(2個)

全調整項目の調整値を1組として、保存するアドレスの選択を行います。左右のボタンを押す度にアドレスインジケータの表示が変わります。「00」から「99」までの100通りのメモリアドレスを指定するが可能です。

④メモリアドレスインジケータ

調整値を保存するアドレスの表示を行います。アドレスは「00」から「99」までの100通りの保存が可能です。このインジケータに表示されているアドレスに対して調整値の保存/呼び出しが可能です。

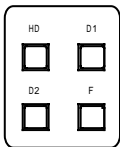
⑤メモリSAVEボタン

現在の調整値を表示中のメモリアドレスに保存します。

⑥メモリLOADボタン

表示中のアドレスに保存されている調整値を呼び出します。既に調整値が保存されたアドレスを選択すると点灯します。調整値が保存されていない時は消灯します。

但し、通信エラー等で対象のVTRの制御が行われていない時は、調整値が保存されていても消灯します。



⑦⑧⑨モード・ボタン(HDボタン、D1ボタン、D2ボタン)

HD/D1/D2の出力モードの選択を行います。

詳細は付属の別紙「本機を使用する前に必ず下記設定を行って下さい。」を参照して下さい。

⑩Fボタン(ファンクションボタン)

Fボタンを押しながら調整つまみを回すと粗調になります。

(メニュー設定によりFボタンを押しの粗調と微調を変更できます。メニュー”C. 5. X”)

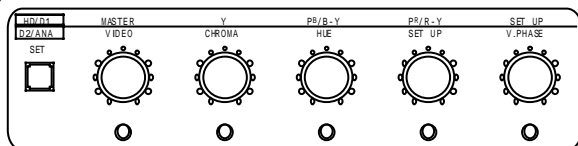
Fボタンを押しながらVTRボタンを押すと数値が逆送り(デクリメント)されます。

Fボタンを押しながらSETボタンを押すとメニューモードに入ります。

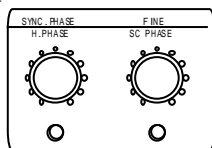
再びFボタンを押しながらSETボタンを押すとメニューモードから抜けます。

詳細は、8ページの「4-5 メニューの操作方法」を参照して下さい。

VIDEO レベル調整 (LED はユニティ時緑色で点灯します。)



SYSTEM位相調整 (LEDはフィックス時緑色で点灯します。)



⑪SETボタン

このボタンが点灯している時は調整が可能です。消灯している時は調整出来ません。このボタンは押す度に点灯と消灯を繰り返します。

⑫調整つまみ (VIDEO レベル調整用つまみ5個)、(SYSTEM 位相調整用つまみ2個)

調整つまみを回すことにより各調整項目の調整が可能です。

5つのVIDEOレベル調整つまみにはユニティの機能があり、押す度にユニティと直前の値を交互に切り替えます。

2つのSYSTEM位相調整つまみにはフィックスの機能があり、押す度にフィックスのオン/オフを切り替えます。

⑬⑭状態表示 LED (⑬VIDEO レベル用 LED5個)、(⑭SYSTEM 位相調整用 LED2個)

現在の調整値が可変範囲のどの辺りにあるかLEDの点灯色で表示します。

| | |
|-----------------|-----------------------------|
| －方向の MAX | アンバー点滅 |
| －方向 | アンバー (MAXに近づくにしたがい明るくなります。) |
| ⑬ユニティ/⑭フィックス・オン | 緑 |
| ＋方向 | 赤 (MAXに近づくにしたがい明るくなります。) |
| ＋方向の MAX | 赤点滅 |

⑭MASTER(HD/D1) VIDEO(ANALOG/D2)調整つまみ

HD/D1 モード時、MASTER の調整に使用します。

D2/ANALOG モード時、VIDEO の調整に使用します。

⑮Y(HD/D1)CHROMA(ANALOG/D2)調整つまみ

HD/D1 モード時、Y の調整に使用します。

D2/ANALOG モード時、CHROMA の調整に使用します。

⑯PB/B-Y(HD/D1) HUE(ANALOG/D2)調整つまみ

HD/D1 モード時、PB/B-Y の調整に使用します。

D2/ANALOG モード時、HUE の調整に使用します。

⑰PR/R-Y(HD/D1) SET UP(ANALOG/D2)調整つまみ

HD/D1 モード時、PR/R-Y の調整に使用します。

D2/ANALOG モード時、SET UP の調整に使用します。

⑱SET UP (HD/D1) V.PHASE(ANALOG/D2)調整つまみ

HD/D1 モード時、SET UP の調整に使用します。

D2/ANALOG モード時、V.PHASE(ANALOG 時 Y/C DELAY)の調整に使用します。

⑳SYNC. PHASE (HD/D1) H.PHASE (ANALOG/D2)調整つまみ

HD/D1 モード時、SYNC. PHASE の調整に使用します。

D2/ANALOG モード時、H.PHASE の調整に使用します。

㉑FINE(HD/D1)SC.PHASE (ANALOG/D2)調整つまみ

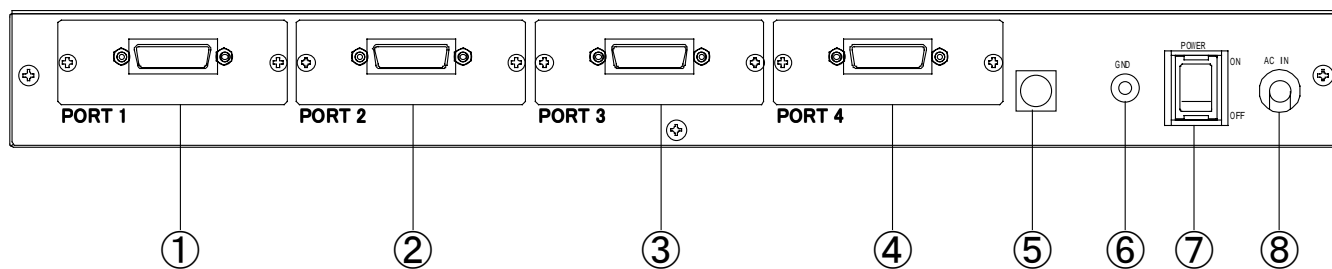
HD/D1 モード時、FINE の調整に使用します。

D2/ANALOG モード時、SC.PHASE の調整に使用します。

㉒リセットボタン

メンテナンス用のリセットスイッチです。このボタンは押すことにより内部 CPU がリセットされます。

3-2 後面パネルの説明



①②③④ PORT1~4

オプションのインターフェース・ボードを実装します。

⑤メンテナンス用コネクタ

メンテナンス時に使用します。

⑥GND端子

⑦電源スイッチ

⑧電源ケーブル

電源ケーブル長 約2m

4. 機能と操作方法

4-1 調整

調整可能な調整項目及び調整ステップ数はVTRのタイプによって異なります。

- ① コントロールしたい VTR を選択して下さい。
VTR 選択ボタンで PORT1~4 の VTR を選択して下さい。
- ② SET ボタンを点灯させて下さい(セット状態)。
※で選択された PORT の VTR の調整が可能になります。調整つまみを回し、各調整項目を調整します。
※F ボタンを押しながら調整つまみを回すと粗調が可能です。
- ③ セット状態を解除して下さい。
一通りの調整が済んだら、再び SET ボタンを押して、SET ボタンを消灯して下さい。SET ボタンが消灯している時は、調整つまみは無効になります。

4-2 調整値の保存

調整した値をメモリアドレスに保存する事ができます。

- ① 4-1 項『調整項目の調整』を行って下さい。
VTR 選択ボタンで PORT1~4 の VTR を選択して下さい。
- ② アドレスの選択を行って下さい。
アドレス選択ボタンを押して、希望するアドレスをアドレスインジケータに表示します。
- ③ 保存を行って下さい。
SAVE ボタンを押すと現在の調整値が保存されます。
※調整値の保存を行うとセット状態は自動的に解除されます。

メモリアドレスに既に調整値が存在する場合

保存を行う時、メモリアドレスに既に調整値が存在する場合アドレスインジケータが点滅します。新しい調整値をそのアドレスに上書きする場合には、もう一度 SAVE ボタンを押して下さい。上書きをしない場合には、2つのアドレス選択ボタンのどちらかを押して下さい。その後、新しいアドレスを選び SAVE ボタンを押して下さい。

電源投入時

アナログ電圧制御タイプ(MT-20A50V, MT-20A25V)のVTRでは、電源切断時の状態は上記の保存操作をしなくても電源再投入時に復元します。シリアル通信制御インターフェース(MT-20S422)のVTRでは、電源切断時の状態をVTR側で記憶しています。

4-3 調整値の呼び出し

メモリに保存した値を呼び出す事ができます。

- ① コントロールしたい VTR を選択して下さい。
VTR 選択ボタンで PORT1~4 の VTR を選択して下さい。
- ② アドレスを選択して下さい。
アドレス選択ボタンを押して、希望するアドレスをアドレスインジケータに表示します。
- ③ LOAD ボタンを押して下さい。
メモリに保存されていた調整値を呼び出します。
調整値の呼び出しを行うとセット状態は自動的に解除されます。

メモリアドレスに調整値が保存されていない場合

調整値の呼び出しを行ったが、メモリアドレスに調整値が保存されていない場合、アドレスインジケータが点滅します。点滅時にもう一度LOADボタンを押すと、アドレスの初期化に使われた値(プリセット値)を呼び出します。2つのアドレス選択ボタンのどちらかを押すと点滅は解除されます。

4-4 アドレス毎のメモリの初期化

現在表示しているアドレスを初期化します。初期化したいアドレスを選択した状態で、Fボタンを押しながらSAVEボタンを押して下さい。

4-5 メニューの操作方法

メニューでは、動作モード等の設定の変更やメモリの初期化などの処理を行います。メモリの初期化などの処理は、設定値を0以外の値に設定すると実行します。以下の説明では、『設定の変更』と『処理』のどちらも『設定値の変更』と総称します。また、『インタフェース・ボード・タイプ』等の表示も行います。

4-5-1 メニューモード

メニューモードに入る時はFを押しながらSETを押して下さい。再度同じ動作を行うと通常モードになります。メニュー変更後、SETボタンを押す事によりメニューの内容は登録されます。

4-5-2 メニューモードの表示

メニューモードに入ると、VIRインジケータ及びアドレスインジケータのドット"."が点灯します。アドレスインジケータの1の桁のドットが消えているメニュー項目は表示のみの項目です。

4-5-3 メニュー項目の設定値の表示、変更

アドレスインジケータの1の桁に、現在の設定値が表示されます。アドレス選択ボタンを押し、設定値を増減して値を変更して下さい。

メニュー項目『アドレス選択ボタン・モード』の設定に関わらず、左のアドレス選択ボタンを押す度に値が-1ずつ変化します。又、右のアドレス選択ボタンを押す度に値が+1ずつ変化します。

4-5-4 その他

メニューモード中はSAVE,LOAD,HD,D1,D2 ボタンは無効です。

メニューモード中に電源を切断すると、変更内容は破棄され、通常モードで起動します。

変更する項目によって、実行時間が異なります。時間がかかる項目の実行時には間歇ビープが鳴ります。間歇ビープが鳴り止むまでお待ち下さい。

4-6 メニュー一覧

| | VTR | ADR1 0桁 | ADR0 1桁 | 内容 |
|----|-----|------------|------------|--|
| 1 | c. | 1. | x. | 【共通】システム・フェーズ・モード 1:ひとつ(デフォルト) システム・フェーズは VTR に依存する為、1度決めてしまえば、素材に関係無く変更する事は無い為、本モードでは、どのアドレスにセーブを行っても、ロード時には最後にセーブした時のシステム・フェーズをロードします。 2:おのおの システム・フェーズをアドレス毎にメモリします。 |
| 2 | c. | 2. | x. | 【共通】ビープ音量 値を大きくするほど音量が大きくなります。0 の時は無音です。 0~9:(デフォルト:5) |
| 3 | c. | 3. | x. | 【共通】アドレス選択ボタン・モード アドレス選択ボタンを押した時のアドレスの増減を設定します。 1:減/増(デフォルト) 左のボタンを押すと-1づつ値が変化し、右のボタンを押すと+1づつ値が変化します。 2:10桁/1桁 左のボタンを押すと+10づつ値が変化し、右のボタンを押すと+1づつ値が変化します。 |
| 4 | c. | 4. | X | 【共通】ソフトウェア・バージョン(表示のみ) 2007年1月 (Ver04) |
| 5 | c. | 5. | X | 【共通】粗調・微調の入替 1:通常時に微調、F キー押下時に粗調 (デフォルト) 2:通常時に粗調、F キー押下時に微調 |
| 6 | 1. | 1. | X | 【VTR1】インタフェース・ボード・タイプ(表示のみ) 1:MT-20A25V 2:MT-20A50V 5:MT-20S422 |
| 7 | 1. | 2. | x. | 【VTR1】プロテクト オンにするとセット状態が解除されます。 オン中は VTR インジケータが点滅し、SETボタン、SAVEボタンが無効になります。 0:オフ(デフォルト) 1:オン |
| 8 | 1. | 3. | x. | 【VTR1】プリセット 現在の調整値をプリセット値として記憶します。 全アドレスの初期化、アドレス毎のメモリの初期化時に、プリセット値でメモリを初期化します。またユニティ系の調整項目では、このプリセットで設定された値をユニティ値としても使います。ユニティ値は、つまみ押下時に呼び出す値として使ったり、状態表示LEDの表示の基準として使われます。 0:なにもしない 1:デフォルト値でプリセット 2:現在調整値でプリセット |
| 9 | 1. | 4. | x. | 【VTR1】全アドレスの初期化 VTR 毎にメモリの全アドレスをプリセット値で初期化します。 0:なにもしない 1:ひとつモード時のシステム・フェーズ以外の全てを初期化 2:ひとつモード時のシステム・フェーズを含め全てを初期化 |
| 10 | 1. | 5. | x. | 【VTR1】プロトコル選択(MT-20S422) 1:HDW(デフォルト) 2:D2 3: AJ-HD3700B 【VTR1】ヒューの向き(MT-20A50V) 1:標準(デフォルト) 2:逆向き |

| | | | | |
|----|----|----|----|--|
| 11 | 2. | 1. | x | 【VTR2】インタフェース・ボード・タイプ(表示のみ) 1:MT-20A25V 2:MT-20A50V 5:MT-20S422 |
| 12 | 2. | 2. | x. | 【VTR2】プロテクト オンにするとセット状態が解除されます。 オン中は VTR インジケータが点滅し、SETボタン、SAVEボタンが無効になります。 0:オフ(デフォルト) 1:オン |
| 13 | 2. | 3. | x. | 【VTR2】プリセット 現在の調整値をプリセット値として記憶します。 全アドレスの初期化、アドレス毎のメモリの初期化時に、プリセット値でメモリを初期化します。またユニティ系の調整項目では、このプリセットで設定された値をユニティ値としても使います。ユニティ値は、つまみ押下時に呼び出す値として使ったり、状態表示LEDの表示の基準として使われます。 0:なにもしない 1:デフォルト値でプリセット 2:現在調整値でプリセット |
| 14 | 2. | 4. | x. | 【VTR2】全アドレスの初期化 VTR 毎にメモリの全アドレスをプリセット値で初期化します。 0:なにもしない 1:ひとつモード時のシステム・フェーズ以外の全てを初期化 2:ひとつモード時のシステム・フェーズを含め全てを初期化 |
| 15 | 2. | 5. | x. | 【VTR2】プロトコル選択(MT-20S422) 1:HDW(デフォルト) 2:D2 3: AJ-HD3700B 【VTR2】ヒューの向き(MT-20A50V) 1:標準(デフォルト) 2:逆向き |
| 16 | 3. | 1. | x | 【VTR3】インタフェース・ボード・タイプ(表示のみ) 1:MT-20A25V 2:MT-20A50V 5:MT-20S422 |
| 17 | 3. | 2. | x. | 【VTR3】プロテクト オンにするとセット状態が解除されます。 オン中は VTR インジケータが点滅し、SETボタン、SAVEボタンが無効になります。 0:オフ(デフォルト) 1:オン |
| 18 | 3. | 3. | x. | 【VTR3】プリセット 現在の調整値をプリセット値として記憶します。 全アドレスの初期化、アドレス毎のメモリの初期化時に、プリセット値でメモリを初期化します。 またユニティ系の調整項目では、このプリセットで設定された値をユニティ値としても使います。ユニティ値は、つまみ押下時に呼び出す値として使ったり、状態表示LEDの表示の基準として使われます。 0:なにもしない 1:デフォルト値でプリセット 2:現在調整値でプリセット |
| 19 | 3. | 4. | x. | 【VTR3】全アドレスの初期化 VTR 毎にメモリの全アドレスをプリセット値で初期化します。 0:なにもしない 1:ひとつモード時のシステム・フェーズ以外の全てを初期化 2:ひとつモード時のシステム・フェーズを含め全てを初期化 |

| | | | | |
|-----------|----|----|----|--|
| 20 | 3. | 5. | x. | <p>【VTR3】プロトコル選択(MT-20S422)</p> <p>1:HDW(デフォルト)</p> <p>2:D2</p> <p>3: AJ-HD3700B</p> <p>【VTR3】ヒューの向き(MT-20A50V)</p> <p>1:標準(デフォルト)</p> <p>2:逆向き</p> |
| 21 | 4. | 1. | x | <p>【VTR4】インタフェース・ボード・タイプ(表示のみ)</p> <p>1:MT-20A25V</p> <p>2:MT-20A50V</p> <p>5:MT-20S422</p> |
| 22 | 4. | 2. | x. | <p>【VTR4】プロテクト</p> <p>オンにするとセット状態が解除されます。</p> <p>オン中は VTR インジケータが点滅し、SETボタン、SAVEボタンが無効になります。</p> <p>0:オフ(デフォルト)</p> <p>1:オン</p> |
| 23 | 4. | 3. | x. | <p>【VTR4】プリセット</p> <p>現在の調整値をプリセット値として記憶します。</p> <p>全アドレスの初期化、アドレス毎のメモリの初期化時に、プリセット値でメモリを初期化します。またユニティ系の調整項目では、このプリセットで設定された値をユニティ値としても使います。ユニティ値は、つまみ押下時に呼び出す値として使ったり、状態表示LEDの表示の基準として使われます。</p> <p>0:なにもしない</p> <p>1:デフォルト値でプリセット</p> <p>2:現在調整値でプリセット</p> |
| 24 | 4. | 4. | x. | <p>【VTR4】全アドレスの初期化</p> <p>VTR 毎にメモリの全アドレスをプリセット値で初期化します。</p> <p>0:なにもしない</p> <p>1:ひとつモード時のシステム・フェーズ以外の全てを初期化</p> <p>2:ひとつモード時のシステム・フェーズを含め全てを初期化</p> |
| 25 | 4. | 5. | x. | <p>【VTR4】プロトコル選択(MT-20S422)</p> <p>1:HDW(デフォルト)</p> <p>2:D2</p> <p>3: AJ-HD3700B</p> <p>【VTR4】ヒューの向き(MT-20A50V)</p> <p>1:標準(デフォルト)</p> <p>2:逆向き</p> |
| 26 | c. | 0. | x. | <p>【共通】全初期化</p> <p>全メモリを初期化し工場出荷時と同じ状態(デフォルト)にします。</p> <p>実行すると、間歇ビープ音がしばらく続いたあと、3回ビープ音がして、自動的に再起動しますので、それまで電源を落とさないで下さい。</p> <p>0:なにもしない</p> <p>1:実行</p> |
| (以降、繰り返し) | | | | |

4-7 機器設定上の注意事項

4-7-1 HDW-M2000 使用時の注意点

- HDW-M2000 使用時、VTRの設定により、D2 モードの SET UP 調整のユニティ値が異なります。
VTR のメニュー設定が以下で使用される時は注意して下さい

| VTR メニュー | VTR設定値 | MT-2000 |
|-------------------------------|--------|------------------------------|
| MENU212:V REMOTE SEL-D2 SETUP | SetUP | VTRのユニティ値と同じです。 |
| | Black | VTRのユニティ値と異なる為ユニテランプが点灯しません。 |

- 上記“Black”設定使用時、以下操作を行う事により、ユニティ値の変更が可能です。

※下記設定を行うと、全てのユニティ値がSETされます。

SET UP 以外もユニティ値を設定して下さい。

1. 通常動作モードからメニューモードにします。(操作:F ボタンを押しながら SET ボタンを押す。) VTR インジケータ及び ADDRESS インジケータがメニュー表示に変わります。
2. プリセット設定メニューを選択します。(操作:VTR ボタンを押す(F+VTR ボタンで逆戻り))
プリセット値の変更メニューはポート毎に設定可能です。
3. プリセット値の変更を行います。(操作:メモリアドレス選択ボタンを押す。)
【2】を選択すると、現在の調整値でプリセットされます。
4. プリセット値を登録する。(操作:SET ボタンを押す。)
5. 以上で設定は完了です。
通常動作モードに戻して下さい。(操作:F ボタンを押しながら SET ボタンを押す。)

5. 仕様

5-1 MT-2000

- ・電源 AC100V 50/60Hz
- ・消費電力 約20W(max)
- ・重量 約2Kg(オプションフル実装時)
- ・外形寸法 430(W) × 44(H) × 110(D) 単位mm
- ・使用温度 5°C~40°C
- ・使用湿度 20%~60%
- ・付属品 ラックイヤー 1組
取扱説明書 1部

5-2 MT-20A50V

5V系アナログ電圧制御インターフェース・ボード

- オフセット ±53mV(max)
- 温度ドリフト ±0.44mV/°C(max)
- 電圧可変範囲 -5~+5V(typ)出力オープン時
- 分解能 12bit

5-3 MT-20A25V

2. 5V系アナログ電圧制御インターフェース・ボード

- オフセット ±53mV(max)
- 温度ドリフト ±0.44mV/°C(max)
- 電圧可変範囲 -2.5~+2.5V(typ)出力オープン時
- 分解能 11bit

5-4 MT-20S422

シリアル通信制御インターフェース・ボード

- 信号レベル RS-422
- ボーレート 1,200~38.4K bpsに対応

6. ピンアサイン

6-1 MT-20A50V

コネクタ: D-SUB15PIN メス座

| ピン番号 | 信号名 |
|------|------------|
| 1 | H.PHASE |
| 2 | HUE |
| 3 | SC PHASE |
| 4 | VIDEO |
| 5 | SET UP |
| 6 | CHROMA |
| 7 | N.C. |
| 8 | SIGNAL GND |
| 9 | FRAME GND |
| 10 | N.C. |
| 11 | N.C. |
| 12 | N.C. |
| 13 | Y/C DELAY |
| 14 | N.C. |
| 15 | N.C. |

6-2 MT-20A25V

コネクタ: D-SUB15PIN メス座

| ピン番号 | 信号名 |
|------|---------------------|
| 1 | GND |
| 2 | SET UP |
| 3 | CHROMA |
| 4 | GND |
| 5 | N.C. |
| 6 | H.PHASE |
| 7 | SC PHASE COARSE (2) |
| 8 | N.C. |
| 9 | HUE |
| 10 | VIDEO |
| 11 | RET GND |
| 12 | N.C. |
| 13 | N.C. |
| 14 | SC PHASE |
| 15 | SC PHASE COARSE (1) |

6-3 MT-20S422

コネクタ: D-SUB9PIN メス座

| ピン番号 | 信号名 |
|------|--------------|
| 1 | FRAME GND |
| 2 | ReceiveA(-) |
| 3 | TransmitB(+) |
| 4 | SIGNAL GND |
| 5 | N.C. |
| 6 | SIGNAL GND |
| 7 | ReceiveB(+) |
| 8 | TransmitA(-) |
| 9 | FRAME GND |

6-4 メンテナンス用コネクタ

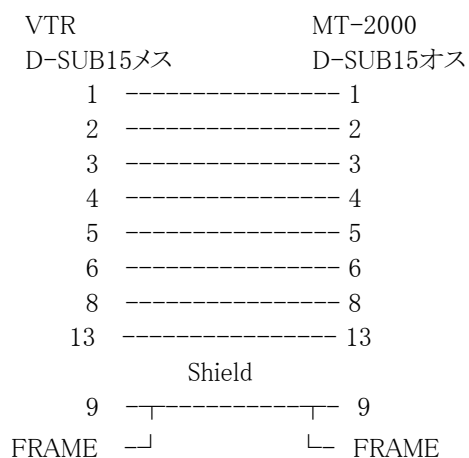
通常使用しません。メンテナンス時に使用します。

7. ケーブル

本機と VTR を接続する時の接続方法を示す。

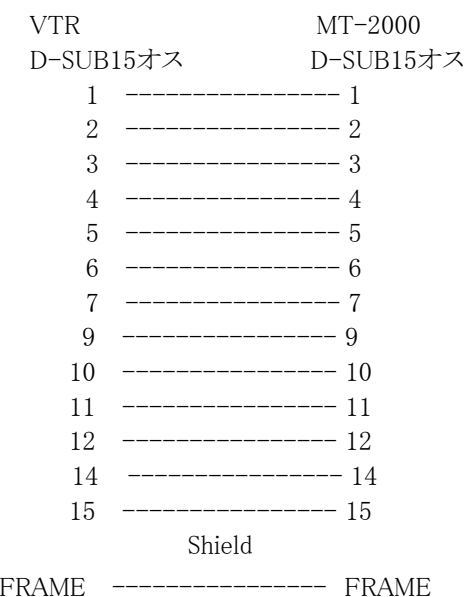
7-1 SAC-5/10

MT-20A50V 用接続ケーブル(DB15 オス - DB15 メス)5m / 10m



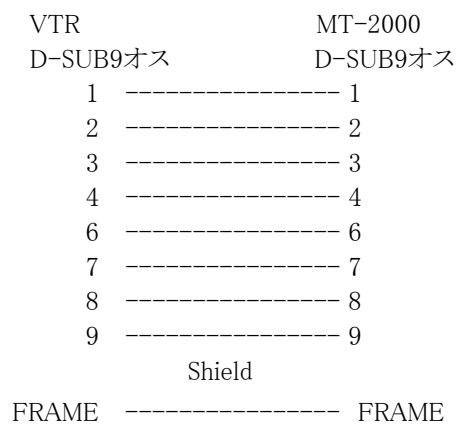
7-2 MAC-5/10

MT-20A25V 用接続ケーブル(DB15 オス - DB15 オス)5m / 10m



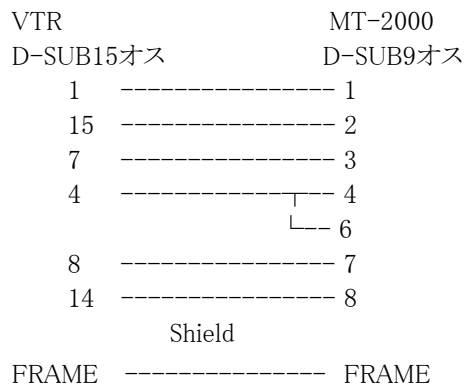
7-3 SDC09-5/10

MT-20S422 用接続ケーブル(DB9 オス - DB9 オス)5m / 10m



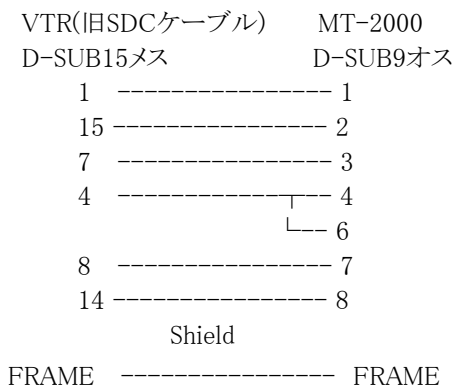
7-4 SDC15-5/10

MT-20S422 用接続ケーブル(DB9 オス - DB15 オス)5m / 10m



7-5 SDC15-JJ

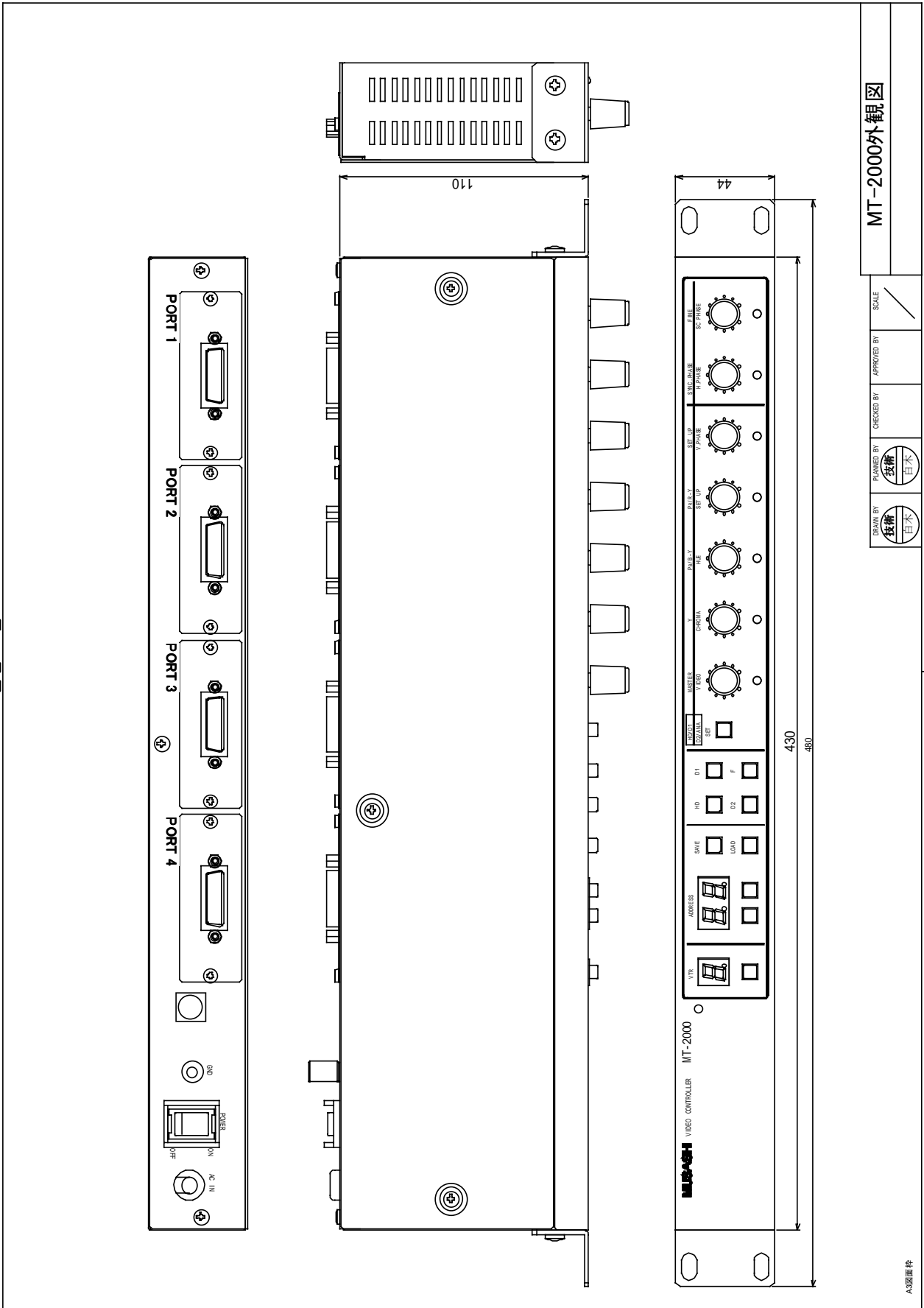
MT-20S422 用接続ケーブル(DB9 オス - DB15 メス)0.2m



※SDC15-JJ は旧 SDC ケーブルと繋げる場合に使用するジョイント(ピン変換)ケーブルの製作例です。

8. 外観図

MUSASHI



MT-2000外観図

SCALE / APPROVED BY / CHECKED BY / PLANNED BY

DRAWN BY / MUSASHI

A3図面枠

※仕様及び外観は改善のため予告なしに変更する場合があります。